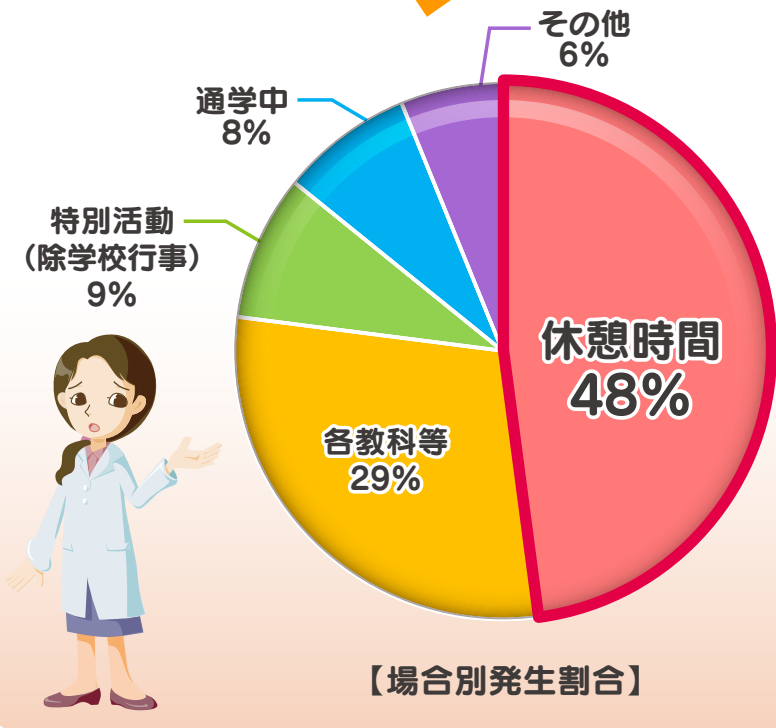


防ぎたい! 休憩時間中の事故

小学校の休憩時間中の事故は
どれくらい多いのでしょうか？

学校の管理下での事故の約半分は
「休憩時間中」に起きています

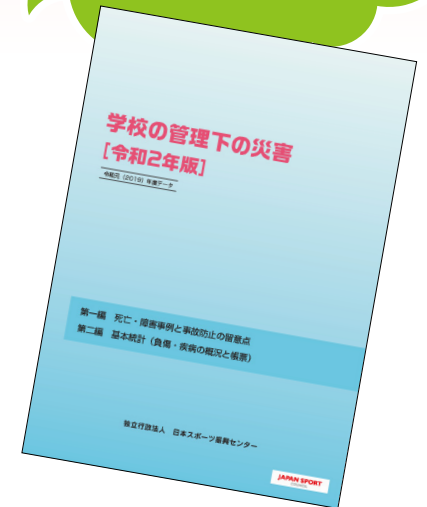


参考：学校の管理下の災害 [令和元年版]、平成30年度災害共済給付データ

学校の管理下の災害

災害共済給付を行う際に得られたデータを年度ごとにまとめた資料です。第一編は、学校の管理下で起きた死亡・障害・供花料の事故事例と、専門家による、子どもの発達段階を考慮した、校種別の事故防止のための留意点の解説を掲載しています。第二編は、年度内の負傷・疾病の発生件数を、「場合別」「場所別」「部活動別」などにまとめた資料(帳票)を掲載しています。

★ 事故防止には
過去の事故事例を
知ることが効果的!



「休憩時間中の事故を防ぐには」で
冊子に掲載の事故事例を一部ご紹介します

「学校の管理下の災害」に掲載の事故事例は、学校安全Webからも閲覧ができます。

学校事故事例検索データベース

https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/anzen_school/tabid/822/Default.aspx



休憩時間中の事故を防ぐには

～屋内・屋外の事故事例～

遊具を使っている時に・・・

昼休み、友人と一緒に埋め込みタイヤから高鉄棒に飛びつく遊びをしていたところ、うまく鉄棒をつかみ切れずに滑ってしまい、バランスを崩して地面に落ちた。その際に、左手をつく格好で転落した。

(外貌・露出部分の醜状障害
小2男)



窓の近くでの作業中に・・・

始業前の休憩時間に、教室で本児童が本棚の上に乗って、窓を全開にして、一人で工作作業をしていた。本児童が窓から身を乗り出した際、窓際の安全柵に足を引っ掛けバランスを崩し、そのまま頭から転落した。窓の下に塀があり、そこに落ちてから、さらに5m下のスロープに転落したと考えられる。

(精神・神経障害 小2男)



専門家による事故防止の留意点

休み時間を安全指導のチャンスと捉え、学年の実態に応じて、児童自身に以下のポイントについて考えさせることが大切である。

ポイント

- ・校庭での危険にはどんなものがあるか(危険予測)
- ・怪我をしないためにはどうしたらよいか(危険回避)

専門家による事故防止の留意点

日常でのヒヤリ・ハットをもとに対策し、大きな事故を未然に防ぐことが大切である。

ポイント

- ・施設上の問題(窓が全開になること)
- ・指導上の問題(児童が本棚の上で作業をしていたこと)
- ・管理上の問題(教師が不在だったこと)

参考：学校の管理下の災害 [令和元年版]